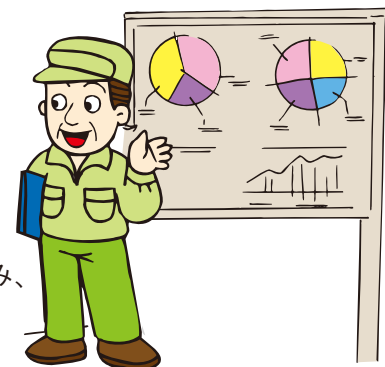
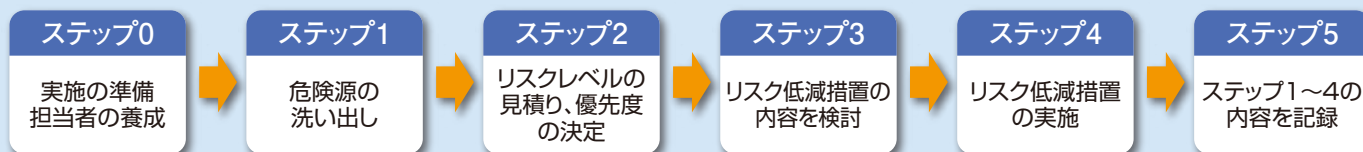


フォークリフトを使用する作業の

リスクアセスメントを 実施しましょう



安全衛生法令を守るだけでなく、現実の危険を排除しなければ先に起こりうる労働災害を防ぐことはできません。職場全員の「危険」の感受性で、危険の芽を摘み、労働災害を防ぎましょう。そのためには、リスクアセスメントの実施が効率的、効果的ですから次のステップにしたがってリスクアセスメントを進めましょう。



フォークリフト運転中の荷直し作業のリスクアセスメント実施事例

● 作業内容

最大荷重2トンのフォークリフトで織物をトラックに運搬中に荷崩れを直す作業

ステップ1 危険源の洗い出し

- 荷崩れを直すため運転席から身体を乗り出し、ティルトレバーに触れてマストとヘッドガードに挟まれる

ステップ2 リスクの評価を行い、速やかにリスク低減措置を講ずる必要があると決定

- 上記の作業はいつでもありえるので、いずれも災害発生の可能性が高い
- 身体を挟まれると頭を挟まれて重傷災害になる可能性がある

発生頻度…高
重篤度…重大

ステップ3 リスク低減措置は工学的措置を優先し、管理的対策、個人用保護具の使用を後順位にする

- A ティルトレバーにノッチを付ける ① 実施順
- B 荷崩れが起きないように積み荷を固定する ②
- C 運転を停止し運転席から降りて直すよう教育する ③

ステップ4 リスク低減措置を実施する

フォークリフトを運転中のパレットの荷崩れを防ぐ

保護帽を着用する

荷崩れは運転を停止し運転席から降りて直す

運転席から乗り出した運転者の身体が触れても動かないようにティルトレバーにノッチを付ける

事故例

頭を挟まれる

フォークリフトの荷崩れを直そうと運転席から身体を乗り出したため、運転者の身体がティルトレバーに触れてマストとヘッドガードに挟まれた

● リスクアセスメント実施結果

作 業	リ ス ク	リスクレベル	低減措置	優先順位
フォークリフトを運転中にパレットの荷崩れを直す作業	ティルトレバーに触れてマストとヘッドガードに挟まれる	IV 重大な問題あり 発生頻度…高 重篤度…重大	A	①
			B	②
			C	③